

日本大学芸術学部文芸学科 2018年12月14日(金)

13時～14時30分・・・所沢校舎 文芸棟 教室1

時 分～ 時 分・・・江古田校舎

テーマ:「共感覚と文学」 岩崎 純一

1. 自己紹介、活動紹介

(ア) 普段

(イ) 学術・芸術活動

岩崎純一学術研究所 (Iwasaki Junichi Academic Institute、IJAI)

ウェブサイト: <https://iwasakijunichi.net/>

メール: 研究所宛 [office@iwasakijunichi.net](mailto:office@iwasakijunichi.net)、岩崎個人宛 [iwasaki-j@iwasakijunichi.net](mailto:iwasaki-j@iwasakijunichi.net)

2. 共感覚と文学

(ア) 共感覚の紹介 (五感との比較)

感覚器官	感覚対象	感覚名称
目 (眼)	電磁波 (可視光線)	視覚 (色覚、形態覚)
耳	音波	聴覚
鼻	化学物質	嗅覚 (臭覚)
舌	化学物質	味覚
皮膚 (身体)	物理的刺激	触覚 (体性感覚)

(イ) 共感覚の実演 (学生の氏名についての共感覚)

(ウ) 共感覚研究の歴史

- ① **世界各地の文明ごとの扱い**: ギリシャ・ローマ時代、非西洋の原住民、日本の芸道 (和歌、香道)
- ② **欧米の大国の白人を中心とする人間観**: 帝国植民地主義、優生思想、人種差別 (類人猿、サル、タコ、牡蠣)
- ③ **人権活動の隆盛**: 発達障害、アスペルガー症候群、LGBT、共感覚
- ④ **社会が特殊知覚・能力を持つ子供を対等に支援 (欧米)**: サヴァン、ギフテッド、タレンテッド、飛び級などの教育制度
- ⑤ **スピリチュアル世界、新宗教への利用 (日本)**: 個人の疑似共感覚者から中・大規模教団へ
- ⑥ **国家プロジェクトへの利用 (日本)**: 共感覚事業・感性事業への公金・税金投入、原義との解離 (「共感覚イノベーション」)、国家・政府と国民・現場の解離、発達障害児などをめぐるいじめ・自殺

文学にできることは何か

(エ) 共感覚と文学 (別紙を使用)